

## 令和三年度 事業報告書

### 特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会

#### 1 事業の成果

##### ◎食の安全と安心に関する研究の推進（共同研究）

1. 東京大学（桑原正貴先生）との共同研究（山崎）研究費支出額：100万円／令和3年度

テーマ：「残留農薬のスマート・リスコミ」

日本リスク学会（11/21@Zoom）にて成果発表（大瀧）

2. 伊藤記念財団からの研究助成（山崎）助成金受領額：150万円／令和3年度

「ハム・ソーセージに配合する食品添加物のリスコミ手法（イラスト流用）の開発ならびに効果検証」

##### ◎食の安全と安心に関する学術啓発活動（SFSS：NPO食の安全と安心を科学する会）

1. 食の安全と安心フォーラム第20回（2/21）@Zoom、『食品ロス削減&SDGs』

主催：SFSS、後援：消費者庁、徳島県、東京大学大学院農学生命科学研究科、協賛各社

2. 徳島県リモートリスコミ講演会（3/7）@Zoom、『食品添加物のリスクコミュニケーション』

主催：徳島県、共催：消費者庁、講演『ホントに安全？食品添加物（山崎）』、SFSSが運営受託

3. 食のリスクコミュニケーション・フォーラム（4/25、6/20、8/29、10/31）@Zoom

テーマ：①ゲノム編集食品（山崎）、②残留農薬、③学校給食（牧）、④惣菜の衛生管理

主催：SFSS、後援：消費者庁・東大農、協賛：セブンイレブン・日本生協連・サラヤ・日清食品

4. 食の安全・安心懇話会①（5/24）@Zoom 『諸外国における食品安全法規制の違いにどう対処する』

主催：SFSS、講師：荻原定彦氏（三井物産）、川合裕之氏（ラベルバンク）

5. 第7回タマゴシンポジウム（6/24）@Zoom テーマ：『タマゴが創る未来の食生活』

主催：タマゴ科学研究会、SFSSが司会とZoom運営を受託

6. 食の安全と安心フォーラム第21回（7/11）@Zoom『食物アレルギーのリスク低減を目指して』

コーディネータ：小川・阿紀、主催：SFSS、後援：消費者庁・東大農、協賛各社

7. 日本食品科学工学会年次大会産官学シンポジウム（8/26）@Zoom 後援：農水省

テーマ：「グリーン成長戦略と食品産業の価値創造」、SFSSが司会／Zoom運営／動画制作を受託

8. 徳島県消費者大学校大学院講座（9/7、9/14、9/21、9/28、10/5）@トモニプラザ&Zoom（ハイブリッド）

『食品安全リスクコミュニケーター養成』主催：徳島県・消費者庁、SFSSが運営／動画制作を受託

9. 食の安全・安心懇話会②（10/7）@Zoom 『新型コロナ勉強会Ⅱ』

主催：SFSS、講師：野田衛先生

10. 日本リスク学会年次大会企画セッション（11/21）@Zoom『食品中の杞憂のリスクを議論する』

発表：小島正美（放射能）・佐々義子（ゲノム編集食品）・大瀧（残留農薬）・山崎（食品添加物）

◎食の安全と安心に関わる中立的情報公開（詳細はこちら⇒ <http://www.nposfss.com/>）

1. 季刊誌：2月（冬号）、6月（春号）、8月（夏号）、11月（秋号）の4回発行済み。  
編集長：山崎、編集委員：芦内、守山、miruhana（事務局より郵送）
2. メルマガ：山崎から毎月不定期に1~2回のご案内メール配信（配信先：約2000名）
3. ホームページ：活動予定、活動報告、食の安全・安心Q&A、食のファクトチェック、理事長雑感の逐次更新。編集長：山崎、編集委員：miruhana
4. ツイッター：ツイBOTで活動告知・食の安全安心情報等を毎日発信（1700件/月、10万PV/月）。  
編集長：山崎、編集委員：miruhana
5. メディアむけ情報提供：
  - 1月月刊日本教育：『科学的エビデンスに基づいたリスク教育を』（山崎寄稿）
  - 3月共同通信→地方紙：【食と震災10年】「安全・安心」は理解から（山崎寄稿）
  - 9月消費と生活 361号：『食の安全と安心フォーラム②（食物アレルギー）』取材記事
  - 10月月刊フードケミカル：『保存料をめぐるリスクコミュニケーション』山崎寄稿

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【6,039】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
食の安全と安心に関する研究の推進	食の安全と安心に関する研究を2テーマ採択した。	上記「1.事業の成果」のとおり、4月より継続。	東京大学大学院農学生命科学研究科	3人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	不特定多数	2,133
食の安全と安心に関する学術啓発活動	シンポジウム、フォーラム、研修会等の開催、運営、およびその広報活動を実施した。	2/21, 3/7, 4/25, 5/24, 6/20, 6/24, 7/11, 8/26, 8/29, 9/7, 9/14, 9/21, 9/28, 10/5, 10/7, 10/31, 11/21	東京大学農学部、オンライン会議 (Zoom)	10人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	800人	2,959
食の安全と安心に関わる中立的情報公開	ホームページを構築・管理し、広報活動を実施。季刊誌・メルマガを定期的に発行した。	上記「1.事業の成果」のとおり、1年を通して継続。	NPO事務局（東京、大阪）	6人	生活者全般、食品関連企業および研究機関	不特定多数	947

## 令和三年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
(A)	経常収益		
1	受取会費		4,674,000
	正会員受取会費	674,000	
	賛助会員受取会費	4,000,000	
2	受取寄附金		126,000
	受取寄附金	126,000	
3	受取助成金等		1,500,000
	受取補助金	1,500,000	
4	事業収益		3,402,650
	事業収益（シンポジウム参加費）	481,000	
	事業収益（シンポジウム協賛金）	450,000	
	事業収益（業務受託費）	2,471,650	
5	その他の収益		19
	受取利息	19	
	経常収益計		9,702,669
(B)	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		1,092,000
	シンポジウム講師料	1,092,000	
	(2) その他経費		4,946,684
	広報費	947,400	
	研究委託費等	2,132,800	
	シンポジウム運営費	1,741,984	
	シンポジウム会場費	0	
	寄付金支出	124,500	
	事業費計		6,038,684
2	管理費		
	(1) 人件費		1,560,000
	給料手当	1,560,000	
	福利厚生費	0	
	(2) その他経費		1,616,702
	消耗品費	180,096	
	通信運搬費	242,283	
	地代家賃	978,000	
	旅費交通費	167,340	
	飲食（会議）費	2,051	
	光熱費	9,442	
	振込手数料	37,490	
	管理費計		3,176,702
	経常費用計		9,215,386
	当期経常増減額 (A) - (B) . . . ①		487,283
(C)	経常外収益		
	固定資産売却益		
	過年度損益修正益		
	経常外収益計		0
(D)	経常外費用		
	固定資産売却損		
	災害損失		
	過年度損益修正損		
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額 (C) - (D) . . . ②		0
	税引前当期正味財産増減額 ①+② . . . ③		487,283
	法人税、住民税及び事業税 . . . ④		
	前期繰越正味財産額 . . . ⑤		2,436,714
	次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		2,923,997

## 令和三年度 貸借対照表

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会  
(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
<b>【A】 資 産 の 部</b>		
1 流動資産		
現金預金 未収金 棚卸資産	2,923,997	
流動資産合計・・・①		2,923,997
2 固定資産		
(1) 有形固定資産 車両運搬具 什器備品		
(2) 無形固定資産 ソフトウェア 借地権		
(3) 投資その他の資産 敷金 長期貸付金		
固定資産合計・・・②		
<b>【A】 資 産 合 計 ①+②</b>		2,923,997
<b>【B-1】 負 債 の 部</b>		
1 流動負債		
未払金 預り金		
流動負債合計・・・③		
2 固定負債		
長期借入金 退職給付引当金		
固定負債合計・・・④		
<b>負 債 合 計 ③+④</b>		
<b>【B-2】 正 味 財 産 の 部</b>		
前期繰越正味財産額	2,436,714	
当期正味財産増減額	487,283	
<b>正 味 財 産 合 計</b>		2,923,997
<b>【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】</b>		2,923,997